大谷東小学校だより
けやき
合言葉「３つの花（あいさつ 思いやり がんばる心）を咲かせよう」

令和7年10月27日（月）発行

１ 今年度の折り返し
２ あいさつ運動旬間
３ みんキラあいさつ運動 ほか

発行者 学校長

今年度の折り返し

【写真】「学びのすがた」手交の様子

二十四節気が「寒露（かんろ）」から「霜降（そうこう）」へと変わりました。秋もいよいよ終わりが近づき、朝晩の冷え込みが強くなってきます。現在、体調を崩している児童が、各学年、数名ずつ見られます。うがいや手洗いを励行するなど、感染予防に努めていただくようお願いします。

10月3日には、「学びのすがた」を手交しました。子どもたちの頑張りが「評価・評定」で確認できたことと思います。今年度前半、それぞれに頑張りました。後半も「笑顔」や「頑張り」がたくさん見られるよう、どうぞよろしくお願いします。

あいさつ運動旬間

【写真】児童指導主任の話を聞く子どもたち

本校では、児童指導の3つの柱として、「あいさつ・時間・整理整頓」を掲げ、常時働きかけを行っています。

9月29日（月）からの2週間、「あいさつ運動旬間」を位置付け、「いつでも、どこでも、だれにでも、自分から」あいさつすることを呼びかけました。

30日（火）には、2校時後の東小タイムに「あいさつ集会」を行い、児童指導主任から「あいさつとは何か」「なぜ、あいさつをしなければならないのか」など、あいさつの意義について話をしました。

毎日の学校生活では、いろいろな出来事や様々な場面があります。その一つ一つを一生懸命に守り、やり抜こうとする子どもたちに、その行為のすばらしさ、それを続けることが自分を育て、よりよい未来につながっていくことを伝えていきたいと思います。

みんキラあいさつ運動　１０月９日

【写真】みんキラあいさつ運動の様子

大谷中学校区の3校（大谷東小、大谷南小、大谷中）では、子どもの豊かな成長を目指して小中一貫教育を進めています。特に「あいさつ、整理整頓、時間を守る」ことについては、基本的な生活習慣として大切にしています。

この日は小中一貫教育の取組の一つである「みんキラあいさつ運動（みんなでキラキラあいさつ運動）」を行うために、大谷中学校の3年生が7時過ぎに来校し、昇降口前や南東門前など4カ所に分かれて小学生を出迎えてくれました。小学生と中学生が「おはようございます！」と明るく元気にあいさつを交わしたり、笑顔で手を合わせたりする姿は、見ていてとても微笑ましいものでした。大谷中学校区の特色ある取組として、これからも大切につないでいき、地域全体にあいさつの輪を広げていきたいと思います。

薬物乱用防止教室　１０月９日

【写真】断り方についてのロールプレイングの様子

保健教育の取組として、６年生を対象に薬物乱用防止教室を実施しました。

栃木県警察本部より２名の講師（警察官）をお迎えし、最初にＤＶＤ視聴を通じて、薬物の種類、薬物による心身への影響、依存症の恐ろしさなどについて学びました。その後、未成年者の大麻に関する現状について教えていただきました。本県では１０人に１人は１０代の若者が大麻で捕まっているという話を聞き、けっして他人事ではない

◆心配なことや疑問などがありましたら、気兼ねなく学校（27-0694）までご連絡ください。

ことが分かりました。

最後に、薬物使用に誘われたときの断り方についてのロールプレイングを行い、「きっぱり断る」「その場から離れる（逃げる）」ことの大切さについてご指導いただきました。薬物乱用の恐ろしさを身近に感じ、けっして自分は薬物に手を出さないという思いをもつことができたことと思います。

文部科学省ホームページには「薬物乱用防止教室は（中略）学校保健計画に位置づけ、すべての中学校及び高等学校において年１回は開催するとともに、地域の実情に応じて小学校においても開催に努めることとされています。」と示されています。こうしたことからも、子どもたちが危険な目に遭わないよう、しっかりとした知識と断るスキルを身に付けられるよう、今後も取り組んでいきたいと思います。

音楽鑑賞会　１０月１日

【写真】演奏を聴く子どもたち

文化庁主催の「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業」で、パーカッショングループ「グータンブール」の４名の皆様にお越しいただき、音楽鑑賞会を実施しました。

本事業は、子どもたちに質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保し、子どもたちの豊かな創造力・想像力や、思考力コミュニケーション力などを養うことを目的に行われています。

本校では、低・中・高学年に対し、50分の公演を3回実施していただきました。低学年の公演では、前半に様々な楽器を使って、日本やラテン系、アフリカの曲などを演奏してくれました。後半は子どもたちが曲に合わせてボディーパーカッションをしました。演奏曲「風になりたい」では、サンバのリズムに合わせて子どもたちも手拍子をしたり、体を動かしたりして、大いに盛り上がりました。

「楽しかった」「また聴きたい」など、子どもたちの弾んだ声がたくさん聞かれました。グータンブールの皆様、ありがとうございました。

公開授業実践

【写真】大学生による授業観察の様子

本校では、9月から10月にかけて、白鷗大学の内田雄三教授や教員志望の内田ゼミの大学生に授業観察の機会を提供し、体育の授業実践や指導法の研究に取り組んでいます。

今回ご指導いただく内容は、4年生の「フラッグフットボール」と6年生の「バスケットボール」です。それぞれ1クラスについて継続して取り組んでいます。内田ゼミの大学生たちが、授業観察や指導の様子を撮影し、その動画を内田教授や大学生たちが視聴して指導法の研究や研究論文につなげていきます。

今回の授業実践・授業研究は、本校児童の体力や技術力向上につながる取り組みになるとともに、本校教員にとっても大変貴重な研修の機会になることと思います。研究の成果を楽しみにしたいと思います。

ふれあい教室

【写真】獣医師の説明を聴く子どもたち

この日は、「　　病院」から獣医師の先生にお越しいただき、1年生に出前授業「ふれあい教室」をしていただきました。本事業は、小動物とふれあう活動を通して、小動物が自分たちと同じように生きていることに気付き、命を大切にする心や豊かな情操を育むことを目的としています。

最初に、獣医師の先生から、ウサギの抱き方やウサギとふれあうときの注意点、ウサギがリラックスしている状態などについて教えていただいた後、実際にさわったり抱いたりしながら、ウサギの体温を感じたり、心音を聞いたりしました。質問タイムでは、子どもたちの疑問にやさしくていねいに答えていただき、子どもたちはとても喜んでいました。

学校ホームページのトップページ下「おたより」の「校長室だより」で、子どもたちの取組を中心に、学校の様子を紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

学校ホームページ QR コード →